

# 略 歴 書

## (公表用)

(ふりがな) 氏 名	ふるたのりゆき 古田宜行
学歴・取得学位	2008年3月名古屋大学法学部卒業 2010年名古屋大学大学院法学研究科実務法曹養成専攻修了 法務博士(専門職)
職歴	2010年12月第64期司法修習生 2011年12月弁護士登録(愛知県弁護士会)
業績	(著書、論文、判例評釈・翻訳等) 「未了の捜査があるが在宅捜査で足りるとして勾留延長決定が取り消された事例」季刊刑事弁護第83号(現代人文社、2015年)所収  『『拳銃110番』関係記録等の証拠開示を求める裁定請求が認容された事例』季刊刑事弁護第101号(現代人文社、2020年)所収  「辩护人立会いを求めたら逮捕されたため国賠請求したケース」季刊刑事弁護第104号(現代人文社、2020年)所収  「辩护人立会いなしの取調べを拒否したことによる在宅被疑者の逮捕」季刊刑事弁護第113号(現代人文社、2023年)所収  『勾留準抗告に取り組む』(現代人文社、2017年)[愛知県弁護士会刑事弁護委員会編集、第6章担当]  『保釈を勝ち取る』(現代人文社、2021年)[愛知刑事弁護塾編集、第11章及び第12章担当]  (講演・口頭発表等、学会・社会活動) 日本刑法学会会員 日弁連刑事弁護センター幹事  (実務実績[取扱業務等]) 一般民事事件・刑事事件
プロフィール (URL)	<a href="https://ftlaw.jp/staff/">https://ftlaw.jp/staff/</a>

※ ご所属の事務所等の個人紹介ページに上記事項が記載されている場合には、プロフィール欄に当該ページのURLをご記入頂き、「プロフィール参照」と記載して頂ければ結構です。